



「第4回通常総会」開催

6月12日 14時～15時30分 茨木市福祉文化会館302号室にて、「第4回通常総会」を開催しました。大阪府福祉部高齢介護室 介護支援課長 菱谷文彦様、高齢者大学同窓会連絡協議会 理事長 梅本泰正様、大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事長 笹原義正様のご来賓にご臨席いただき、各位から温かい激励のご挨拶をいただきました。

そして、議長に中井一仁さんが選出され、出席者87名(委任状を含む)の報告がなされ、本総会が成立要件を満たしていることを確認後、議案書に基づいて、審議事項の第1号議案「平成27年度事業報告承認」、第2号議案「平成27年度活動決算報告及び監査報告承認」、第3号議案「役員選任」について、順次詳細の報告がなされ、審議の結果各議案とも全会一致で承認されました。



続いて、報告事項の「平成28年度事業計画」及び「平成28年度予算」について報告がなされ、承認されました。会員皆様のご協力により本総会を円滑に終えました。ありがとうございました。

船本幸二 理事長の挨拶要旨

本日は、ご多忙の中、NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジの「第4回通常総会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、ご来賓としてご臨席賜りました大阪府、ならびに関係各位に対しまして心からお礼申し上げます。



さて、当大阪府北部コミュニティカレッジは、この9月で設立4年を迎えることになり、28年度は第4期生を迎え入れての開講となりました。

受講生は、この4月入学の346名と3期生の2年目を迎える170名の総員516名となっていますが、28年度予定していました8学科の定員389名に対し下回る結果になったことで苦しい運営を余儀なくされることとなります。

従いまして、29年度に向けては28年度受講生募集についての反省を踏まえて、募集委員会・学科カリキュラム検討分科会においては、次の事項を重点に検討を進めたいと考えています。

1. 受講生の集まる学科の検討及びONCCとしての特色ある学科内容を構築。
2. 政策的学科の「地域福祉を学ぶ科」の教室を北摂各地域で開講するなど、各地域にマッチする展開の検討。
3. 利便性が良く、安価な教室の発掘と確保。

そして、「健康づくりと福祉を学ぶ科」と「地域福祉を学ぶ科」の卒業生が中心に準備してきた、「ふれあいサロン“げんき塾”」が5月にオープンしたのを機に、「ふれあい事業推進部」を新設して、当カレッジの理念である地域貢献活動を更に拡充推進してまいります。

ONCCは、29年度の向けて新しい地域貢献活動等への挑戦をしてまいりますので、どうか皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成27年度卒業式・終業式

平成28年3月9日 吹田市文化会館(メイシアター)において開催しました。



当日は、前夜からの雨が午前中も続きましたが、開式前にはすっかり上がり青空も見える好天になりました。

この日 晴れて卒業を迎えたのは、2期生(2年制)5クラスの183名と3期生(1年制)4クラスの118名、総員301名でした。

理事長式辞、来賓からの祝辞に続いて、それぞれのクラスの主任講師からはなむけの講評。そして、卒業証書授与並びに2年通算皆勤の3名と1年間皆勤の23名が表彰されました。

その後、在校生を代表して中村清子さんが『卒業生の熱意を引継ぎ、素晴らしいカレッジになるよう協力していく』との決意と卒業生に『カレッジで学んだことを活かして益々活躍を』との送る言葉を述べられました。

これに答えて山本 等さんが卒業生を代表して、先生へのお礼と『これからも楽しみを持ち続け、一歩前へ進む気持ちを大切にしていきたい』と力強く決意を述べて閉式しました。

その後、追手門学院大学教授の松井健先生の『まだまだ青春アクティブに元気に暮らそう』のテーマで、講演いただき、シニアの卒業式にふさわしい記念講演でした。



平成28年度4期生入学式・3期生始業式



平成28年第4回入学式は、4月5日 吹田市文化会館(メイシアター)で開催しました。

開式直前に司会者より紹介された4期生8学科の346人は、始業式を終えたばかりの3期生から盛大な歓迎の拍手を受けて、式典に臨まれました。

初めに、船本幸二理事長の式辞に続き、大阪府高齢介護室長、吹田市長、他来賓代表皆様の祝辞を頂戴し、更に各学科主任講師より、心に響く激励のことばを頂きました。

最後に、新入生代表 堀田文恵さんが『今日の喜びをかみしめ、思いを同じくする仲間と学び・教え合い、チャレンジ精神で何事も全力で取り組みたい』と決意を述べられました。

また、3期生代表 田之口 勇さんから『午前の授業だけでなく、午後のホームルーム・校外学習・ふれあい交流祭等を通して仲間づくりと新しい発見を楽しみ、真の青春を感じてほしい』と歓迎のことばを贈り、閉式しました。



続いて恒例の記念演奏で、フルートアンサンブル「エスカル」の素敵な演奏で癒され、最後に震災復興支援ソング「花は咲く」を全員で合唱拍手喝采！！

場内は、終始“緊張と喜び”が漲り、新たなスタートの日に相応しい雰囲気の中、緞帳が下りました。

3期生 「2年目を迎えて！」

キャンパスライフ(美術)科 3期生 吹田教室

全く未経験で入学された方が多かったと思います。1年目は鉛筆のデッサンから基本形、遠近法、色の三要素とその特性の学びから入りました。6月後半に油彩で静物(野菜)を描き、構図、配色、色感、背景を学ぶ頃になると嬉しさと、不安が仲間の表情に表れていました。

2学期に入り、油彩で静物(果物)を描く頃には、その表情が変わって来て校外に出て大阪城の写生になると、秋空の中に気持ちがいじけて、楽しく絵を描いている様に見えたのは、私だけではなかったと思います。

2年目を迎え、今年度油彩は10号に挑戦し、最終は20号まで描きます。油絵は体力、構図力、観察力、想像力、そしてユーモア、アイデアが必要なものです。健康で楽しく笑顔で学べることを願っています。【文: 佐野 常世】



今年度はCAが2名とも交代し、班替え、クラス長・班長選出後、交流会を兼ねた校外学習を実施。鉛筆デッサン、コラージュ制作を経て、今月からいよいよ10号サイズの油絵を描く授業に入りました。

先生の熱心なご指導と皆様のご協力で、明るく楽しいクラスになるよう新米CAも頑張る所存です。【文: 三村 登】

歴史のロマンと謎に迫る科 3期生 豊中教室

平成27年4月「歴史のロマンと謎に迫る科」に期待を膨らませて入学した私達は、早や1年が過ぎてクラスの会話も次第に多くなり、殊に班の仲間とのふれあい交流祭に向けての活動は、班の連帯感を強くすることができました。

2年目に入り、新しい班編成となりましたが、すぐに仲間意識が生まれた感じがします。我が国は急速に長寿化社会が進んでおり、その中で認知症の社会的問題が顕著で私達にとっても他人事ではないものとなっております。歴史を学ぶことによる脳の活性化や、仲間とのコミュニケーションは、明らかにボケ防止にプラスとなると考えられます。<万緑の真只中に佇ちみたり>年齢と共に体の衰えは抗し難いものがありますが、この1年も元気で楽しく学んでいきたいと願っております。【文: 田尻 翼】



出来るだけ沢山のの人に仲良く成って貰う為に、班替えをしました。1年目は午後のルーム講座・見学会他、計10回のほとんどをCAが企画しましたが、今年度は、受講生の意見に基づいて実施していきたいと考えています。よろしくお願い致します。【文: 北方 禧巨】

歴史・文学の人と心を学ぶ科 3期生 高槻教室

歴史担当・若井先生の軽妙でユーモアあふれる講義、古典担当・裏先生の様々な周辺事項にも触れながら興味深く話される博識な講義、どちらも笑いの絶えない、それでいて奥深く、「目からうろこ」もある講義の人間ドラマに毎回引き込まれています。

2年目に入り、既に裏先生同行で親鸞・日野富子生誕地等を訪ねる現地探訪ツアーがあり、6月の自主的な校外学習の行き先も石山寺・近江神宮方面に決まりました。毎週クラスメンバーに会えるのを楽しみに通っていますが、本年度の新たな班メンバーで相談してふれあい交流祭に向けての学習テーマも決まり、これらの行事・テーマ活動を通じて仲間たちと共に学び、より一層充実した有意義な一年間にしたいと考えています。【文: 鳥居 孝】



若井先生と裏先生の歴史・文学科は我々3期生がファイナルです。そこで思い出づくりに、クラスの皆様方と共に文集作成に取り組もうと思っています。

また、午後のホームルームはクラスの皆様方のリクエストをまじえて充実させます。【文: 前田 敏雄】

カメラ・フォトグラフ科 3期生 茨木教室

フォトグラフ科入学当初は45名のクラスでしたが、2年目に入り受講生数も24名に減り、班の構成も一班6名と少なくなりました。それでも昨年よりカメラの授業やミーティングがスムーズに進むようになったと思います。昨年は理論を中心に教室での活動が多かったのですが、2年目のカリキュラムでは野外にて撮影ロケが多く入っていて、これから昨年習った理論等を撮影実戦に生かす場面が多くなります。また展示会やふれあい交流祭に向け作品作りにも力が入ります。大坪先生の講義も最初は少し難しかったのですが、2年目に入り、先生のペースに合わせてゆけるようになりました。これから益々写真のレベル向上、プラス、班およびクラスメンバーとの交流に弾みをつけ、楽しく頑張っていきたいと考えています。



茨木市若園公園撮影会
(永井俊雄撮影)2015.5.12

…最後に来年もこのクラスの延長があれば最高なのですが…！【文： 鍵谷 美博】

受講生の立場から、CAを初めて経験しています。2年目の講座は受講生の減少となりましたが、受講生間の距離は縮まり、コンパクトな構成での班活動もスムーズになったと聞き及びます。理論中心から撮影ロケを含む実践活動が大幅に増えたカリキュラムのスムーズな運営に努めます。【文： 茨田 孝二】

4期生 「入学して！」

地域福祉を学ぶ科 4期生 豊中教室

「地域福祉を学ぶ科」は、50代？から80代までの33名(女性25名・男性8名)でスタート。この歳になって毎年、初対面の多くの皆さんと顔を合わせるのには億劫な一面もあるが新しい出会いと数多くの知己を得る、またとない機会でもある。

33名の受講生の中には、既に福祉の実務に携わっている方も数多くおられ、当初は場違いな学科を選んだかな？と怯みかけたが、最初の新崎先生の「あなたもアクティブシニアになりませんか？」のお話で少し氷解。

まずは、新しい出会いを大切に、楽しい一年間を過ごすことで「アクティブシニア」に少しでも近づいて行きたい。【文： 手塚 之博】



地域福祉とは、地域の人と人とのつながりを大切に、お互いに助けたり助けられたりする関係やその仕組みをつくっていくことだと言われています。受講生が学んだ知識を生かして、地域の共助の仕組みづくりに、アクティブシニアとして意欲的に活動されることを期待しています。【文： 山本 勝】

音楽を楽しく学ぶ科 4期生 摂津教室

松本先生はじめアンサンブルサビーナの皆さん、CAの2人プラス受講生36名の総勢45名で「音楽を楽しく学ぶ科」がスタートしました。自己紹介では皆さんの前向きなパワーを感じ、おそらく一番若いであろう(自称28歳！?)私は一番覇気がないと反省しました。

授業は音楽の起源からはじまりギリシャ・ローマ時代から現代へと流れる予定ですが、松本先生の知識の豊富さで今まで知りたかった事をもっと掘り下げた、まさに「痒い所に手が届く」内容で、私にとっては至福の時間です。初めてのリズム練習では、家で子どもにリズム感がないと、偉そうに言っていた私の方がリズムを取れずに落ち込み。また、時にはサビーナの皆さんの生演奏を間近で聴けるというプレゼントもあり、あっという間に時が過ぎていきます。【文： 石原 英恵】



音楽について発祥から現代まで歴史の流れに沿って、資料・映像・生演奏や歌などを駆使しての講義内容は受講生に大変好評です。社会における音楽の役割を知り自らの生活を豊かにし、リズムや発声など実践もしながら楽しく学べる講座を受講生の皆さんと作っていきたいです。【文： 林 法子】

ふれあいサロン「げんき塾」 オープン！

5月6日オープンしました！一人暮らしの高齢者が、サロンで近所の人と談笑しながら、多くの知り合いができて「いざという時は、お互いに助け合える関係」となることを願って、気軽に集える「居場所」として、ご利用いただくよう立ち上げました。

運営スタッフは、2期生「健康づくりと福祉を学ぶ科」と3期生「地域福祉を学ぶ科」卒業生の有志30数名が中心となって活動いただきます。



ボランティア活動の未経験者が、この塾をボランティア活動の場として経験を積み、将来、アクティブシニアとして第一歩を踏み出せるように学習することも目的の一つです。



まだ、始めたばかりですので、1カ月に1回(第1金曜日)の開催にすぎませんが、経験を積めば開催回数を増やすことも検討中です。

サロン活動に興味をお持ちの方は、ぜひお立ち寄りください。

※開催場所：豊中市刀根山6-9-60「刀根山蛭池会館」

「ふれあい事業推進部」を新設しました。

上記の「ふれあいサロン“げんき塾”」の立ち上げを機に、ONCCの基本理念、そして特定非営利活動法人としての根幹である社会貢献活動を積極的に拡充推進するために、新たな組織体制として「ふれあい事業推進部」を新設しました。

具体的な事業内容として、下記の事業を順次展開してまいりたいと考えています。

- ①前述の「ふれあいサロン“げんき塾”」を、拡充してまいります。
- ②現在事業部担当の「福祉講座(助成金事業)」を、29年度から当推進部に移して担当します。
- ③所管が曖昧になっている「花と野菜のガーデニング公開講座」等については、1億総活躍の場として「農」と「福祉」が高齢者生きがいづくり活動推進事業として厚生労働省老健局振興課予算係が推進しています。現在の箕面市での公開講座、そして1期・2期生「野菜づくりを楽しむ科」卒業生の有志に利用管理していただいている「豊能農園」を、今後は「ふれあい農園」として社会貢献を目指した運営に転換していきます。そして、農園での障がい者就労支援、そこで出来た野菜の販売と事業の拡大が出来るようになります。
- ④また、「健康づくりと福祉を学ぶ科」の卒業生有志が中心で、視覚障がい者の町歩きをサポートする「ふれあい歩こう会」を発足します。当カレッジが、毎年開講している同行援護従事者研修を受講され、多くの方が大阪府の認定を受けられました。その方々の参加も呼びかけていきます。
- ⑤今後、地域貢献活動を充実するために、ONCC卒業生、受講生、同窓会、SA地域会など、幅広く呼びかけて、サポーター(活動家)としての人材登録制度の構築も必要になってきました。そこで、「ふれあいサポーター制度」を設け、より多くのスキルを持った人々(ジャンル問わず)の登録参加を呼びかけていきます。

以上の①～⑤までの活動を纏めて「ふれあい事業推進部」のミッションとして、積極的に推進することにより、福祉関連事業の一層の充実を図っていきます。

皆様の活動参加をお待ちしています。

①ふれあいサロン“げんき塾”	②福祉関係講座(助成金事業)・同行援護従業者 他
③ふれあい農園・豊能、箕面農園	④ふれあい歩こう会・視覚障がい者の方との町歩き
⑤ふれあいサポート・人材登録と活動	

公開文化講座のご案内

28年度の「公開文化講座」は、下記の通り開講(一部開講中)しますので、ご案内します。

本講座は、シニア層に限らずどなたでも受講いただけます。また、既に開講中でも余裕のある講座については途中からの受講もできます。(この場合の受講料は、1回当り1,300円とさせていただきます。)

講座名・講師	開講期日	会場	備考
1.「 <u>三国志の世界を訪ねて</u> 」 京都女子大学名誉教授 狩野 直禎先生	5/28、6/11、7/2、10/22、 11/5、12/10 (各土曜日・全6回)	高槻南スクエア 4F (阪急高槻市駅 南前)	60名満員
2.「 <u>司馬遼太郎 文藝の魅力</u> 」 関西学院大学文学部教授 細川 正義先生	6/13、7/11、8/8、10/3、 10/31、11/28 (各月曜日・全6回)	関西アーバン銀行豊中支店 4Fホール (阪急豊中駅 3分)	若干名の 追加受講可
3.夏期講座「 <u>“白鳳時代の風景” 発掘調査と木簡から深層に迫る</u> 」 奈良文化財研究所客員研究員 深澤 芳樹先生 他2先生	7/26、7/29、8/2、8/26、 8/30 午前・午後 (火 or 金曜日・全6回)	関西アーバン銀行豊中支店 4Fホール (阪急豊中駅 3分)	応募受付中 先着順60名
4.秋期講座「 <u>古代日本の争乱を 考える</u> 」シリーズ第3弾 関西大学非常勤講師 古代史学者 若井 敏明先生 他2先生	8/6、9/3、10/1、11/12、 12/3、H29-1/14 (各土曜日・全6回)	千里文化センター「コラボ」 千里公民館 3F会議室 (北大阪急行千里中央駅前、 モノレール千里中央駅 5分)	応募受付中 先着順60名

オープンキャンパスのご案内

平成29年度の受講生募集の一環として又、ONCCの学科内容を広く理解いただくために、各学科の教室で「オープンキャンパス」を 6月27日「歴史と古典文学を学ぶ科」を皮切りに開催します。

まず、前期は下記の6学科の各教室で開催します。引き続き、後期としてその他の学科でも開催します。学科の内容はもとより、授業の楽しさや面白さ、講師の進め方や話術、教室の雰囲気などを皆さんご自身の見聞きで是非お確かめください。

在校生の皆さん、同窓会・シルバーアドバイザーの方々、お友達や地域の皆様のご来場をお待ちしています。詳細は、“案内チラシ”や“ホームページ”をご覧ください。 ONCC連絡事務所 ☎ 072-646-9422

学 科	開催期日・10～12時	教 室	定 員
音楽を楽しく学ぶ科	6月27日 (月)	摂津市「正雀市民ルーム」	10名
キャンパスライフ(水彩)科	7月 4日 (月)	高槻市「高槻南スクエア」	5名
先人の知恵から学ぶ考古学科	7月 4日 (月)	吹田市「北千里ディオス1番館」	10名
西国街道の史跡を訪ねる科	7月 7日 (木)	豊中市「関西アーバン銀行豊中支店」ホール	10名
地域福祉を学ぶ科	9月 1日 (木)	豊中市「福祉会館」	15名
歴史と古典文学を学ぶ科	9月 2日 (金)	豊中市「関西アーバン銀行豊中支店」ホール	10名

編集後記 当カレッジも4年目を迎え、受講生516名が元気に学習と諸活動に励んでいます。

第4回通常総会も無事終わりました。昨年より進めてきた地域でのふれあいの活動の場の「げんき塾」も卒業生中心にスタートし、これを機に『ふれあい事業推進部』を新設して、当カレッジの熱い思いを、地域で具体的に展開する新たな第一歩を今 踏み出しました。これからも、地域の皆さんと共に、一步一步前進してまいります。 (林)

